神情協 先端技術研究会 「使えるJenkinsを構築する」 第3回

株式会社ジェイエスピー

本日の予定

- 1. はじめに
- 2. 前回の復習
- 3. JenkinsとMagicPodの連携
- 4. グループディスカッション
- 5. 次回以降について

以下のアカウントを確認してください!

- Jenkins
- MagicPod
- GitHub
- Chatwork

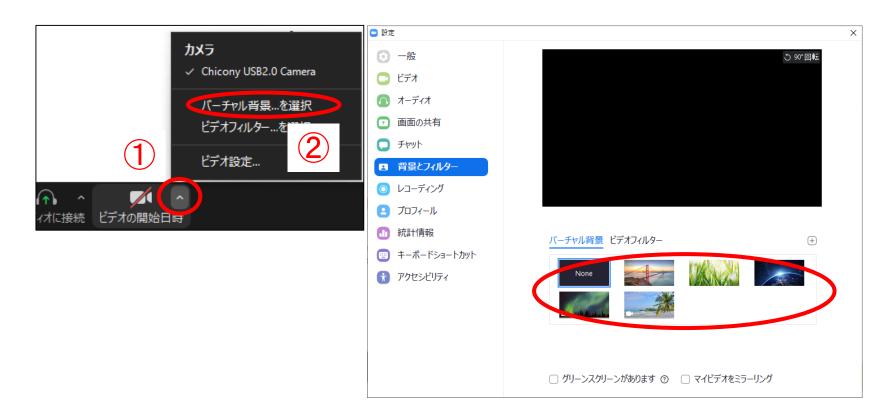
スタッフ紹介

- 講師 : 千田 駿人
- 質問等があった場合、

基本的にZoomのチャットでコメントをお願いします。

Zoom について

「バーチャル背景」



Zoom について

第4回までZoomで実施の予定

① 「チャット」

質問等で使用



②「手を挙げる」「手を下げる」 作業の区切り、質疑応答



この研究会について

目標

「Jenkinsを使えるものにする手段」を知り、 その利用価値を考える

成果物

Jenkinsで実現できることを提案

→ グループで1つ。デモも OK

今後の予定

	日程	内容	形式
第1回	10/10	CIについて講義/Jenkinsに触れる	オンライン(Zoom)
第2回	11/14	プラグイン/MagicPodの使用	オンライン(Zoom)
第3回	12/12	MagicPodとの連携/グループ話し合い	オンライン(Zoom)
第4回	1/16	Jenkinsのその他設定/グループ話し合い	オンライン(Zoom)
第5回	2/13	成果発表/懇親会	弊社会議室

- 時間:10:00~12:00
- 形式について 新型コロナウィルスの影響で第4回までオンラインとする予定です。 第5回についても、 皆様のご要望によりオンラインとする可能性があります。

本日の予定

- 1. はじめに
- 2. 前回の復習
- 3. JenkinsとMagicPodの連携
- 4. グループディスカッション
- 5. 次回以降について

前回について

<目標>

- Jenkins でほかのツールと連携する。 MagicPod で画面の自動テストをする。

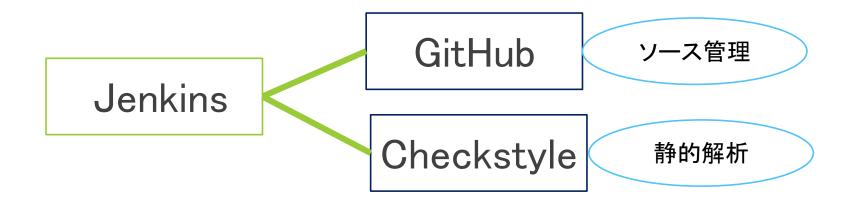
キーワード: Checkstyle、FindBugs、MagicPod

Jenkins に触ってみる

- 1. ジョブの作成
- 2. GitHubからソースを取得する
- 3. Ant でビルドをする
- 4. JUnit でテストをする
- 5. プライベートリポジトリを作る
- 6. ワークスペースを変える
- 7. GitHubからソースを取得する
- 8. Checkstyle で静的解析を行う

これでできること

プラグインで連携可能! より開発環境に近い形に!



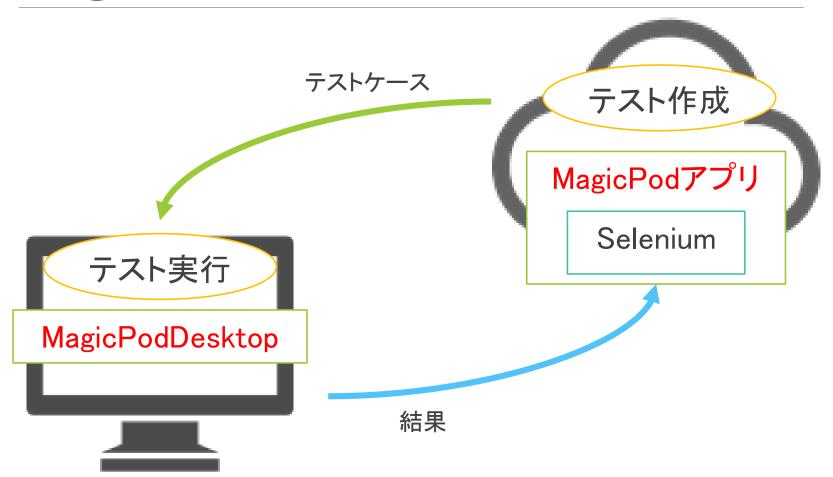
MagicPod について

- Web画面の自動テストを行う
- 簡単操作でテストケースを作成
- ネットに接続できる環境であれば実行可能



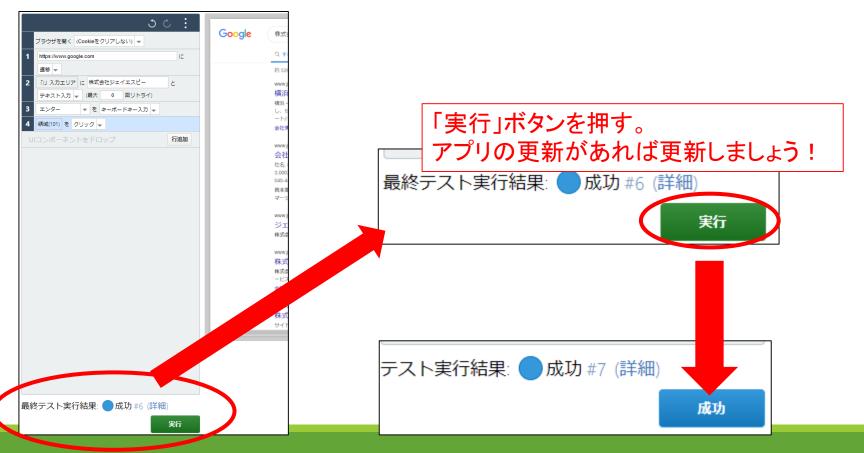
https://www.magic-pod.com/ より引用

MagicPodについて



テスト実行

前回作成したテストを実行して成功になることを確認する



本日の予定

- 1. はじめに
- 2. 前回の復習
- 3. JenkinsとMagicPodの連携
- 4. グループディスカッション
- 5. 次回以降について

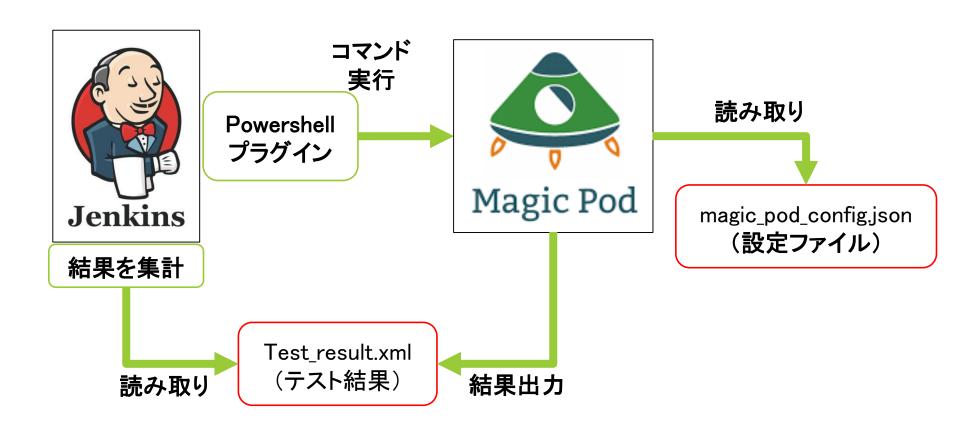
Jenkins と MagicPod の連携

- 1. 設定ファイルの確認 (MagicPod)
- 2. 設定ファイルを編集(MagicPod)
- 3. Powershellでコマンド実行 (MagicPod)
- 4. Powershellプラグインをインストール (Jenkins)
- 5. ジョブの設定と実行(Jenkins、MagicPod)
- 6. テスト結果の表示(Jenkins、MagicPod)【課題】

このマークのところまで来たら、 「手を挙げる」を押してください」 →

ここまで終わったら「手を挙げる」

Jenkins と MagicPod の連携(概要)



設定ファイルの確認

JenkinsとMagicPodとの連携で使うファイルを確認します。

① MagicPodDesktop を閉じる



設定ファイルの確認

② 以下のディレクトリを開く。

C:¥Users¥(ユーザ名)¥AppData¥Roaming¥magic_pod_desktop

※隠しファイルの表示をONにする



設定ファイルの確認

③ 「magic_pod_config.json」を開く。

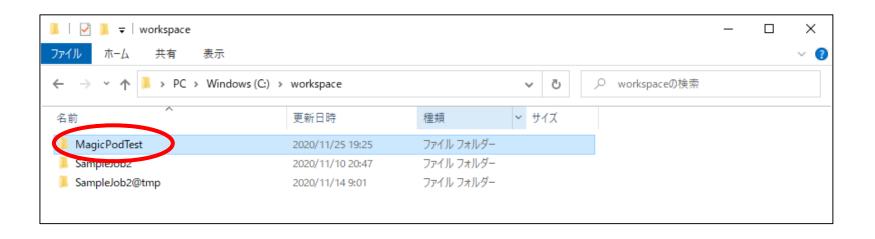
```
owner": "JSP",↓
いろいろ書いてありますが、これを使います!
       'excludedTestCaseLabels": [],↓
      "sharedDataPatternRows": {},↓
      "capabilities": {↓
         "browserName": "chrome"↓
       "baseUrl": "<a href="https://www.jspnet.co.jp/",↓</a>
       "envVars": [],↓
       ″xmlTestOutput″: true,↓
      "workDir": "C:¥¥Tools",↓
       ″authTokenFilePath″: ″C:¥¥Users
″proxyServerUrl″: ″auto″,↓
                                            .magic_pod_token",↓
       "proxyServerAuthType": "none",↓
"proxyServerAuthUser": "",↓
       "proxyServerAuthPassword": "".↓
      "logLevel": "beginner",↓
       "testCondition": {↓
         ″device_type″: ″desktop″,↓
        "browser": "chrome"↓
       "captureType": "on each step",↓
                                                   ここまで終わったら
       "stepCaptureScope": "html",↓
       "sendMail": false,↓
       "retryCount": 0↓
                                                        「手を挙げる」
```

設定ファイルの編集

エクスプローラを開き、前回作成した「C:\formal C:\formal workspace」の直下に移動。

「MagicPodTest」というフォルダを作成する。

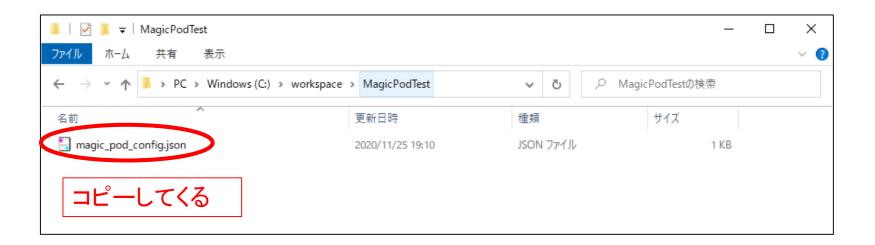
※「workspace」というフォルダを作ってない場合は、作成する。



設定ファイルの編集

C:\footnote{\text{Voorkspace} MagicPodTest |\text{C}

設定ファイル「magic_pod_config.json」をコピーする。



```
"owner": "JSP".
"project": "(プロジェクト名<u>)</u>",
                                    Powershell で実行するために
"testNumber": "(テスト番島)"
                                    編集する箇所は3か所
'capabilities": {
 "browserName": "chrome"
"baseUrl": "(指定のURL)"
"xmlTestOutput": false,
"workDir": "C:¥¥Users¥¥(ユーザ名)/Desktop/magicPod",
"authTokenFilePath": "C:¥¥Users¥¥(ユーサ名)/.magic_pod_token",
"logLevel": "beginner",
"testCondition": {},
"captureType": "on_each_step",
<u>"stepCaptureScope"</u>: "html",
"sendMail": false,
                                       注意点
"retryCount": 0
```

① ブラウザの設定(赤字部分を追加)

```
"capabilities": {
    "browserName": "chrome",
    "goog:chromeOptions": {
        "args": [ "--disable-features=VizDisplayCompositor" ]
        }
},
```

② テスト結果をXML形式で出力(赤字部分を修正)

"xmlTestOutput": true,

True にするとXML形式で出力してくれる。 このファイルをJenkinsに読ませる。

- ③ ワークスペースの指定(赤字部分を修正)
 - → テスト結果のファイルがここに作られる。

「¥」では読まれないため、「¥¥」としておく

【注意点】 ④ メール送信設定

"sendMail": false,

↑必ず「false」にしてください ここのメンバ全員にメールが飛んでしまいます。

ここまで終わったら「手を挙げる」

Jenkins では MagicPod をWeb経由ではなく、

Powershell を使って、コマンド実行をします。

(コマンドが厄介…)

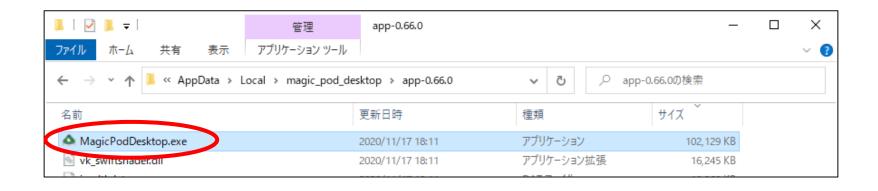
Windows のメモ帳を開いてください!

MagicPodDesktop.exeのパス

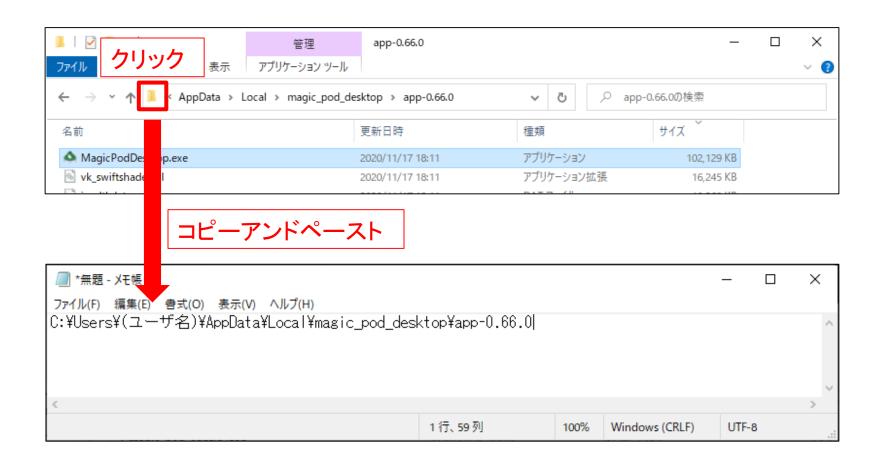
↓にあるはず……なければ教えてください(隠しファイルを表示)

C:¥Users¥(ユーザ名)¥AppData¥Local¥magic_pod_desktop¥app-0.67.0¥MagicPodDesktop.exe

※MagicPodのバージョンによって名前が異なるので注意



MagicPodDesktop.exeのパス



MagicPodDesktop.exeのパス

最後に「¥MagicPodDesktop.exe」を付ける



コマンド

↓メモ帳にコピーアンドペーストします(改行はしない!)

& "(MagicPodDesktop.exeのパス)" run --magic_pod_config="C:\u00e4workspace\u00e4MagicPodTest\u00e4magic_pod_config.json"; Wait-Process -Name MagicPodDesktop -Timeout 1200

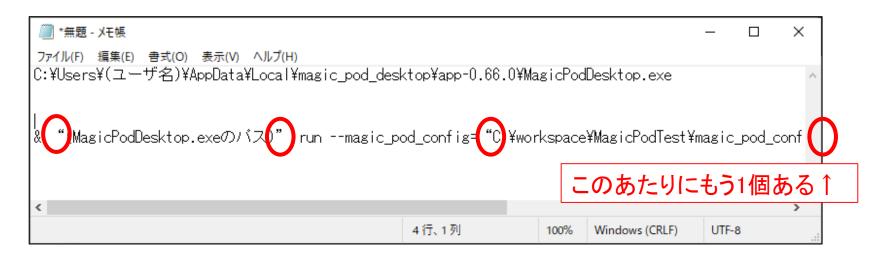
拡大したもの:

& "(MagicPodDesktop.exeのパス)" run -magic_pod_config="C:\footsymbol{\text{Y}} workspace\footsymbol{\text{MagicPodTest\footsymbol{\text{Y}}} magic_pod_config.json";
Wait-Process -\text{Name MagicPodDesktop} -\text{Timeout 1200}

次ページでこのコマンドを編集します。

コマンド作成

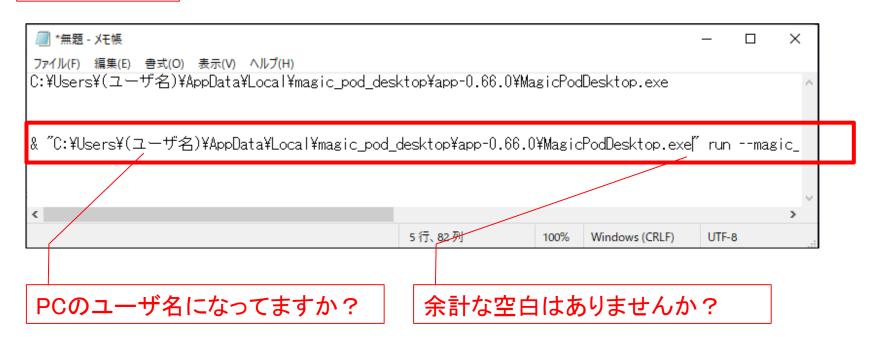
ダブルクォーテーションが全角になっているので、<u>すべて</u>半角に直す

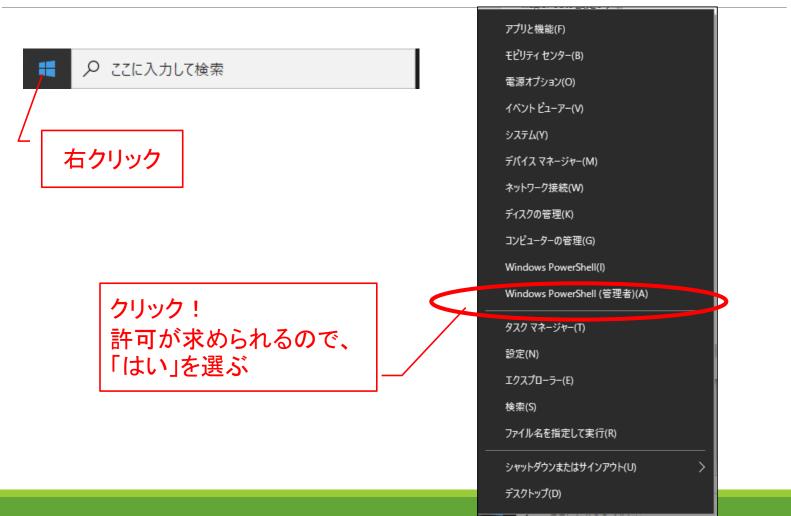


コマンド作成



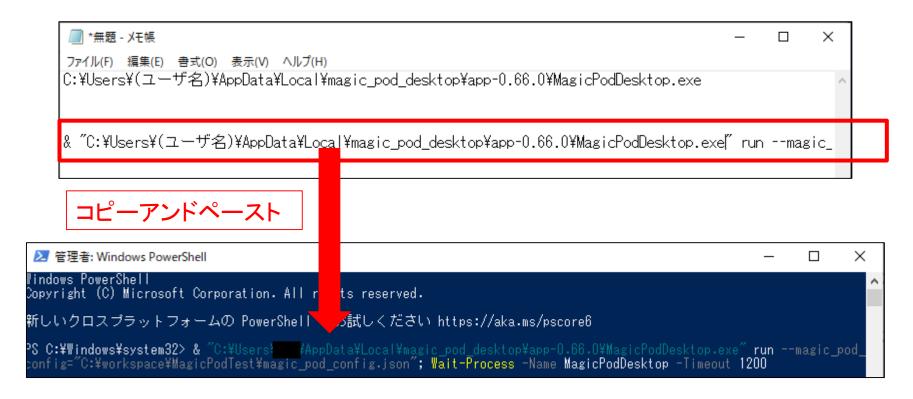
コマンド作成





Powershellで確認

コマンド実行



Powershellで確認

ここまで終わったら「手を挙げる」

Powershellのプラグインを入れる。

オフラインの場合は 44ページへ



Powershellのプラグインを入れる。

Jenkinsの管理

System Configuration



システムの設定

システム全体の振る舞いやパスを設定します。



Global Tool Configuration

Configure tools, their locations and automatic installers.



プラグインの管理

Jenkinsの機能を拡張可能なプラグインの 追加、削除、無効化および有効化を行い ます。



ノードの管理

Jenkinsがジョブを実行する様々なノードの追加、削除、制御および監視を行います。

Powershellのプラグインを入れる。



Powershellのプラグインを入れる。



Powershellのプラグインを入れる。

プラグインのインストール/アップグレード

準備

- インターネットとの接続をチェックします。
- jenkins-ci.orgとの接続をチェックします。
- 成功

PowerShell



成功すれば完了!

Loading plugin extensions



- ページの先頭へ戻る
 - (すぐにインストールしたプラグインを使用できます)

オフラインの場合

Powershellプラグインをインストール

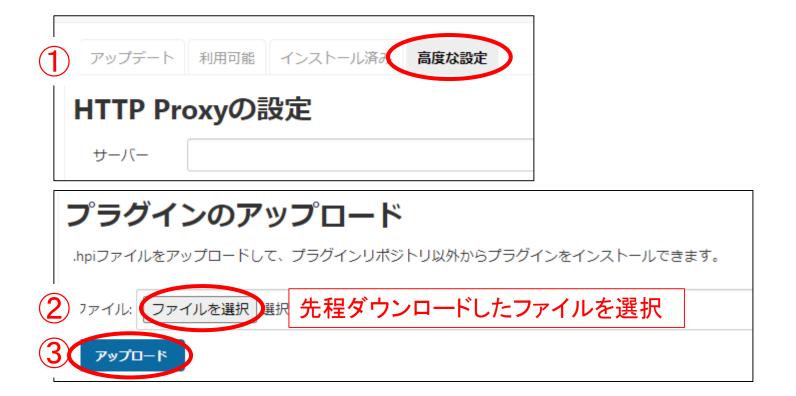
Powershell

http://updates.jenkins-ci.org/download/plugins/powershell/

プラグインのインストールは次ページ

オフラインの場合

Powershellプラグインをインストール



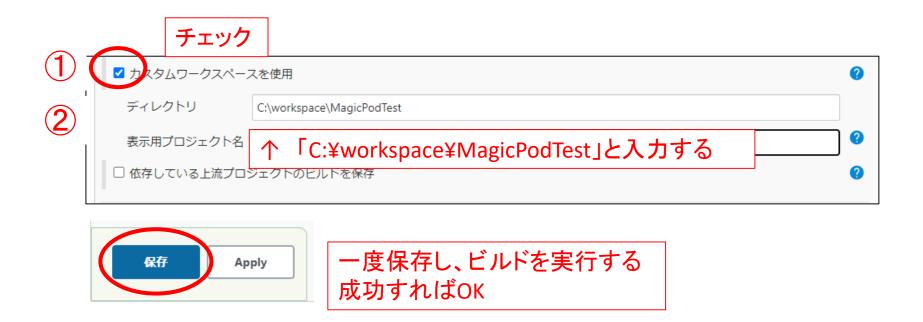
以前作ったジョブをコピーせずに、新規に作成する





ワークスペースを変える





再度、設定画面を開く



ビルドの項目













一番下までスクロール

Sending test screen captures... 1 more captures needs to be sent

Test result: https://magic-pod.com/JSP/technical_study_group/batch-run/3/

Finish

个Powershellで実行した結果と同じ出力が出る

MagicPod側ではどうなっているか? Webの画面を見てみる





「テストー括実行結果」の画面自分が実行したテストの時間や開始時間を確認できる



ここまで終わったら「手を挙げる」

本日の予定

- 1. はじめに
- 2. 前回の復習
- 3. JenkinsとMagicPodの連携
- 4. グループディスカッション
- 5. 次回以降について

成果発表について

課題

Jenkinsを使って困ったことを解決する方法を提案

- グループで資料やデモを作成
- 2月13日の第5回で発表(1グループ15分発表、質疑応答5分)
- 必ず Jenkins を使うこと(GitHubやMagicPodを使用してもよい)
- ハードやツールの構成も発表に入れること
- 複数作成してもOK

成果発表について

- 困ったことの内容は自由
 - C# で開発して Jenkins で自動ビルドをしたい。
 - 画面試験を Jenkins から自動で実施してほしい。
 - 結果を Slack に通知してほしい。
 - 日報を自動生成してほしい。 etc…
- 様々なツール連携が可能。
- こういうのを実現したいということであれば伺います。

グループディスカッション

- グループで話してもらいたいことは3点
 - 1. 自己紹介
 - 2. 課題について(困ったことは?自動化したいことは?)
 - 3. 次回までのTODO
- Chatworkのグループチャットに書く
- タスク機能を使ってもOK! (期限を決める場合は1/16がおすすめ)
- ディスカッション中、聞きたいことがあればヘルプで千田を呼ぶ



本日の予定

- 1. はじめに
- 2. 前回の復習
- 3. JenkinsとMagicPodの連携
- 4. グループディスカッション
- 5. 次回以降について

次回以降について

	日程	内容	形式
第1回	10/10	CIについて講義/Jenkinsに触れる	オンライン(Zoom)
第2回	11/14	プラグイン/MagicPodの使用	オンライン(Zoom)
第3回	12/12	MagicPodとの連携/グループ話し合い	オンライン(Zoom)
第4回	1/16	Jenkinsのその他設定/グループ話し合い	オンライン(Zoom)
第5回	2/13	成果発表/懇親会	弊社会議室

■ 時間: 10:00~12:00

■ 詳細: 再度メールにてご連絡させていただきます。

■ 課題: 65ページ以降の内容、本日チーム内で決めたこと

皆様お疲れ様でした。 よいお年を!

このミーティングは、13:00 まで開いております。 質問等がございましたら、何なりとお申し付けください。

課題

テストケースごとに成功失敗を視覚化できる。

- ・Junit形式で出力
- ・テストケースの実行結果は「成功」「失敗」のみ

(どこで失敗は分からない)

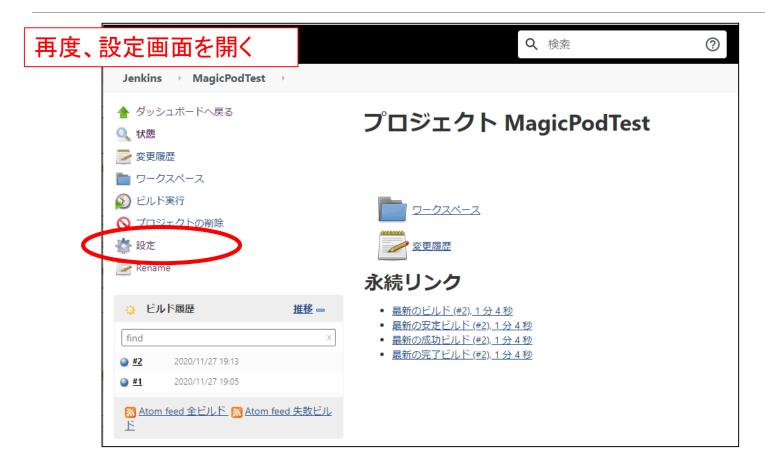
テスト時間もわかる

プロジェクトの無効化

♥説明を記入

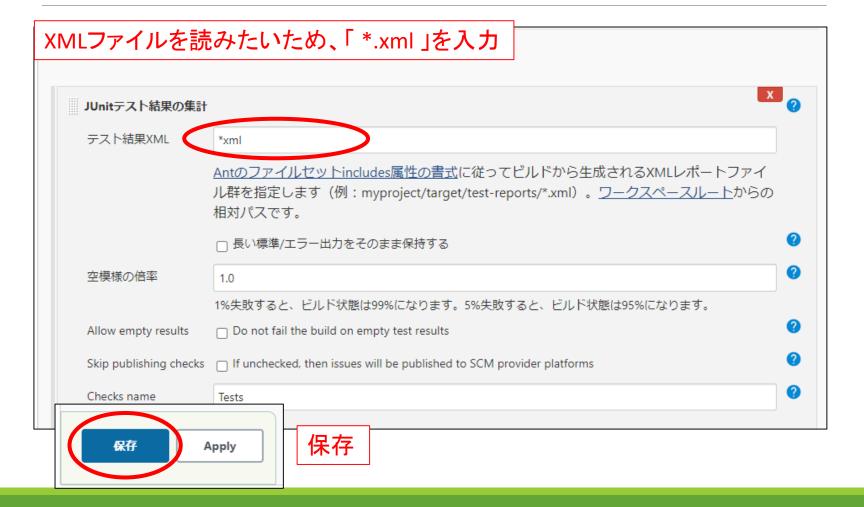






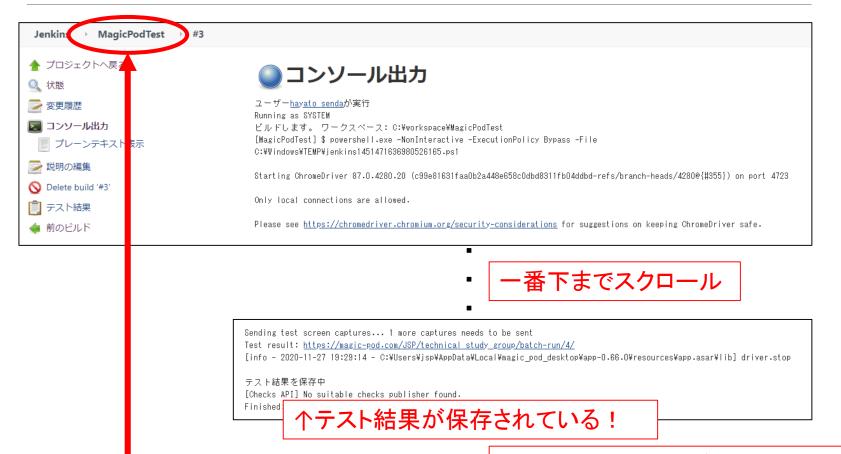
ビルド後の処理の項目(設定画面の一番下)











確認出来たら、ジョブの画面に戻る

